

(様式 1)

令和 7 年 ● 月 ● 日

滋賀県知事 あて

申請者 郵便番号 (▲▲▲-▲▲▲▲)
住所 (▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲)
学校名 (●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●)
代表者の職・氏名 (校長 ●●●● ●●)

発行責任者氏名 (●●●● ●●)
担当者氏名 (●●●● ●●)
担当者電話番号 (●●●-●●●●●-●●●●●)

連絡のとれる番号を記載してください。

地場産業・伝統的工芸品次世代魅力体験事業費補助金交付申請書

下記のとおり標記補助金の交付を受けたいので、滋賀県補助金等交付規則第 3 条および地場産業・伝統的工芸品次世代魅力体験事業費補助金交付要綱第 7 条の規定により、関係書類を添えて申請します。

なお、この申請にあたり同規則第 4 条第 2 項各号のいずれかに該当する事実が判明したときは、同規則第 16 条の規定に基づき補助金等の交付の決定の全部または一部を取り消されても、何ら異議の申立てを行いません。

記

(別紙 2) 収支予算書の
③交付申請額を記入してください。

1 補助金交付申請額 金 ●●●, ●●● 円

2 関係書類

- ・ 事業計画書 (別紙 1)
- ・ 収支予算書 (別紙 2)
- ・ 口座振込依頼書 (別紙 3)

添付書類に漏れがないか
確認してください。

地場産業・伝統的工芸品次世代魅力体験事業費補助金 事業計画書

1 申請者概要

担当者	学校名	〇〇市立●●●学校
	役職・氏名	教頭 〇〇〇〇
	TEL / FAX	TEL : 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇 FAX : 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇
	E-MAIL	〇〇@〇〇.jp (※必ず連絡が取れるアドレスを記載してください。)

2 地場産業・伝統的工芸品製造事業者と連携して行う体験等事業計画

対象となる地場産品の品目（製造者）	伝統的工芸品「●●●」（製造者：〇〇〇〇）
実施する体験学習等の内容	小学4年生（1組、2組 計60名）を対象に〇〇地域の学習のため伝統的工芸品「●●●」の製造事業者「〇〇」に学校に来ていただき、講演と製造工程の体験学習を行う。 9月 小学校で伝統的工芸品「●●●」を授業内で紹介 10月 体験学習の実施 11月～ 体験した内容と学習した内容のまとめ
その他、授業等で取扱う学習の内容	総合的な学習の時間だけでなく、社会科の授業でも伝統的工芸品「●●●」の学習時間を設けて、学習効果を高める。
地場産業や伝統的工芸品の将来の担い手となる人材の育成・確保への寄与	製造工程の体験を行うことで、通常の授業では得られない経験と学習により、伝統的工芸品への愛着や興味の促進を図ることができる。
備 考	その他、授業だけでなく、文化祭でも伝統的工芸品「●●●」の製造工程体験ができる場所を設ける予定。 また、小学4年生だけでなく、学校全体での周知も図る予定。

(別紙 2)

地場産業・伝統的工芸品次世代魅力体験事業費補助金 収支予算書

【支出の部】

補助対象経費の区分	内訳	補助事業に要する経費 (消費税含む額)	補助対象経費 (消費税含む額)
報償費	伝統的工芸品「●●●」製造者の講師謝礼	33,000円	33,000円
費用弁償	学校・作業場間の往復交通費	5,555円	5,555円
通信運搬費	体験学習用備品・作品等の運搬費	44,000円	44,000円
		円	円
		① 合計	82,555円
		② (=①の 1/2)	41,277.5円
		③ 交付申請額	41,277円 (一円未満切り捨て)
		【留意事項】 ・交付申請額の一円未満は端数金額を切り捨てた額を記入してください。 ・交付申請額の上限は15万円です。	

【収入の部】

区分	収入額予定	備考
自己資金 (①－③)	41,278円	
県補助金 (③と同額)	41,277円	
合計額 (①と同額)	82,555円	

金融機関名	●● 銀行・信用金庫 信用組合・農協				●● 本店・支店 本所・支所・出張所			
金融機関コード	●●●●				支店コード		●●●●	
預金の種類	1. 普通 (総合口座)				2. 当座			
口座番号	●	●	●	●	●	●	●	番号は右づめでご記入ください。
口座名義	フリガナ	●●●● ●●						預金通帳に記載されているとおりにご記入ください。 30文字まで登録できます。
		●●●● ●●						

※口座番号が分かる通帳のコピーまたはキャッシュカードのコピーを添付してください※